

# 京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

## 2. 平成27年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目	
公共施設マネジメント		統合保育所整備事業	
事業着手前			
課題・現状	本市の公立保育所は、平成16年の6町合併から2ヶ所1分園減少し、現在27ヶ所の設置となっているが、近年建設及び改修した保育園を除いては、昭和40年代から50年代までに建設されたもので、老朽化が著しいものもあり、これまで維持補修に努めてきたものの、快適な保育環境の保持には多くの修繕費等が必要な状況となっている。また、旧耐震基準で設計し建築された保育所施設については、平成21年度から耐震診断を実施した結果、全ての建物で補強又は改修が必要であることが判明している。		
事業概要	峰山町域の保育所のうち、吉原保育所、長岡保育所、新山保育所及び丹波保育所の4つの保育所については、大規模地震の際に倒壊する危険性が高く、耐震補強等が不可能と判断された。安全で安心できる保育環境を確保する必要があることから、統合保育所が完成するまでの間、仮設保育所を借り上げ代替施設による保育を実施するとともに、4つの保育所を統合整備する。		
期待される事業効果等	保育所再編等推進計画に基づく適正規模での公立保育所運営により、将来に渡る人件費及び維持管理経費の抑制が期待できる。		
事業実績			
取組状況	保育所統合により広域となった通園に対応するため、集約した通園バスの車庫整備を行うとともに、代替施設である仮設保育所の解体撤去を行う。		
主な実績数値 (出来高数値等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス車庫新築工事 25,812千円</li> <li>・仮設保育所撤去経費 12,629千円(遊具移設を含む)</li> </ul>		
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	保育所を統合することにより経費が抑制されるため。

事業効果

事業効果の考え方

■峰山統合保育所事業効果

(単位：千円)

保育園	人件費	物件費	合計	備考
吉原保育所運営経費	26,614	8,707	35,321	
長岡保育所運営経費	24,951	4,761	29,712	
新山保育所運営経費	57,503	9,654	67,157	
丹波保育所運営経費	20,494	3,357	23,851	
旧保育所 計	129,562	26,479	156,041	
峰山統合保育所運営経費	81,584	19,430	101,014	運営はH27から
効果額	47,978	7,049	55,027	

年度

H26

H27

H28

H29

H30

行革前(a)

156,041

156,041

156,041

156,041

156,041

行革後(b)

156,041

101,014

101,014

101,014

101,014

効果(a)-(b)

0

55,027

55,027

55,027

55,027